

2015. 8. 8

## 世界スカウトジャンボリーが閉幕

～続々退場、3万人の「町」が消滅～

山口県のきらら浜（山口県山口市阿知須）に152の国と地域から3万3838人のスカウトやリーダーが集まって開かれていた「第23回世界スカウトジャンボリー（23WSJ）」が8月8日、閉幕した。7月28日から12日間にわたって続いた大会は、会期中、天候に恵まれ、ほぼすべてのプログラムが予定通り実施された。

28夜の閉会式の後、各国の派遣団は撤収作業に着手、続々と会場を後にした。29日までには大半のスカウトと指導者が退場、3万人の「町」が姿を消す。

期間中、多くの報道関係者がジャンボリー会場の取材に訪れた。世界スカウトジャンボリーが日本で開催されたのは44年ぶりとあって、新聞の地方版やテレビの地方枠だけでなく、全国紙や全国放送、ウェブメディアなどで積極的に報道された。

23WSJのマーケティング・アンド・コミュニケーション部長を務めた松平頼昌・ボーイスカウト日本連盟広報委員は、「地元メディアをはじめ、日本全国から多くの報道関係者においでいただき、世界スカウトジャンボリーを直に体感し、報道していただいたことに心より感謝申し上げます。これを機にスカウト運動に一層のご理解をいただき、平和を希求する子供たちの活動にご支援いただくよう、お願い申し上げます」とのコメントを出した。

これをもって大会期間中最後リリースとします。ボランティアの素人仕事のため、取材の皆様にはご不便をおかけしましたことをお詫び申し上げます。2018年には石川県珠洲市で日本ジャンボリーを開催、2022年にはボーイスカウト日本連盟が創立100周年を迎えます。今後もご支援のほど、お願い申し上げます。ありがとうございました。

問い合わせ：080-3413-7811（期間中限定）

大会後はボーイスカウト日本連盟広報・出版課 03-5805-2903